

特別史跡加曽利貝塚の復元集落に新たな復元住居が完成しました

特別史跡加曽利貝塚では、復元集落に新たな復元住居（106号住居）が完成しましたので、お知らせします。

1 経緯

平成31年2月に策定した「特別史跡加曽利貝塚グランドデザイン」の中で、新たに1棟の復元住居を設置する方針を示しました。

設置作業を令和7年11月から始め、このたび、106号住居の設置が完了したため、公開を開始するものです。

今回の復元住居整備により、計3棟の復元住居（100号住居、106号住居、111号住居）が公開されることになります。見学者の縄文時代の暮らしに対する理解度、満足度の向上を図ります。

※復元住居設置の様子について、加曽利貝塚博物館ホームページにてご覧いただけます。

【URL】 https://www.city.chiba.jp/kasori/infomation/ennai_hukugen.html



2 今回復元した住居の概要

(1) 対象遺構

106号住居跡（縄文時代中期・加曽利EⅢ式期）

(2) 遺構の形状

不整円形 長径5.5m 短径5.2m 延床面積約23.5㎡

主柱7本を配し、中央に地床炉を有する。周溝・壁柱列無し。

(3) 復元構造

伏屋根式竪穴住居 屋根は茅葺き（逆葺き）

3 公開日

令和8年4月3日（金）9：00から

住居外観は、公園利用時間であれば、いつでも見学することができます。住居内部の見学は、加曽利貝塚博物館開館時間内となります。

※維持管理および安全のため内部の公開を中止することがあります。

4 復元住居写真



106号竖穴住居（外觀）



106号竖穴住居（内部）



復元集落

<参考>加曾利貝塚博物館利用案内

○開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

○休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日にあたる場合は開館し、翌日以降の国民の祝日でない日は休館）、年末・年始（12月29日から1月3日）
※休館日も公園として史跡内を利用することができます。

○入館料 博物館およびその他野外施設など、すべて無料。